

# 【AMED】IoTデバイス/モバイルアプリケーションを活用した肥満妊産婦の産後の減量のための介入研究

|         |   |
|---------|---|
| 受付番号    | S20200803   |
| 研究課題名   | IoTデバイス/モバイルアプリケーションを活用した肥満妊産婦の産後の減量のための介入研究  |
| 当院研究責任者 | 院長 佐藤 雄一  |
| 研究分担診療科 | 産婦人科  |
| 代表研究機関名 | 国立成育医療研究センター  |
| 研究期間    | 倫理委員会承認日 ～2024年3月31日  |
| 研究目的と意義 | 肥満女性に対し、IoTデバイス/モバイルアプリケーションによる介入を妊娠中から産後1年まで行うことで、介入を行わない場合よりも、妊娠前から産後12ヵ月の体重変化率が少なくなるかどうかを評価する。   |
| 研究方法    | <p>●対象<br/>当院で出産予定で妊娠30週未満かつ妊娠前BMI<math>\geq 25\text{kg/m}^2</math>の女性70名。<br/>ただし、本研究で使用する体組成計やモバイルアプリケーションが使用できない女性は除外する。</p> <p>●使用するIoTデバイス・モバイルアプリケーション等の概要</p> <ol style="list-style-type: none"><li>IoTデバイス<br/>・体重・体組成計・活動量・睡眠計・血圧計</li><li>モバイルアプリケーション<br/>・介入群：リンクアンドコミュニケーション株式会社製 健康管理アプリケーション『カロママプラス®』の妊産婦用</li></ol> <p>●利用するカルテ情報<br/>妊婦健診受診時の情報や臨床所見、母子手帳情報、妊娠転帰等</p> <p>●方法<br/>肥満女性に対し、妊娠中から産後1年まで、IoTデバイス（体組成計、潔悦啓、活動量・睡眠計）を着用し、モバイルアプリケーションに入力した食事写真記録等に関するアドバイスをを行う。さらに産後6週から産後1年までモバイルプラットフォームを通じた双方向性の個別指導を行うことで、介入を行わない場合よりも、妊娠前から産後12か月の体重変化率が少なくなるかどうかを探索的に評価する。</p> <p>●他機関へ提供する方法<br/>記録用紙を研究事務局へ送付</p> |